

川内中央中校区まちづくり懇話会 進捗状況一覧

開催年度	議題	地区	議題内容	所管課	回答概要	進捗状況 (H25年度末現在)	進捗状況 (H26年度末現在)	進捗状況 (H27年度末現在)	地区審計計画	H26当初予算	H27当初予算	H28当初予算	完結分
H27	2	平佐西	川内駅東口広場の活用について	企画政策課	県・九州・全国大会の会議を誘致しようとしても本市で開催できる施設がない。近々議会とも協議をしながら、東口の中心にあるこの市有地をどのように対処するかを模索したい。 天辰の純心大学の下にもかなり広い市有地についても、区画整理が終了し、所期の目的を達成している。このままでは、この地域の発展につながらないので、処分のあり方も考えなければならない時期にきている。できるだけ早くまとめて議会と意見交換してまいりたい。 薩摩川内市の核となるような場所に仕上げる必要がある。そのようなことを含めて、皆様から地元としての意見を聞かなければなら			・財源（原子力発電施設立地地域共生交付金の活用）の用途が立ち、これまでの利活用の方向性を継続しつつ、事業化へ向けて進めていきたい。 ・現在、あるべき機能構成や整備手法など、基本的な方針を基本構想としてとりまとめる作業中であり、その後、県と連携しての交付金申請手続きを経て、施設整備へと進めていく。					
H27	3	平佐東	地区の避難道路確保について (市道楠元・中村線(旧宮之城線跡)の整備)	建設整備課	市道楠元・中村線の整備については、以前から要望があった。当時、平佐東地区では、戸田橋から長野集落までの市道戸田・長野線を整備中であり、それが終わったら、市道楠元・中村線に着手する旨の説明をしていた。楠元上自会から吉野山までの1500m程を測量設計し、図面ができあがり、平成24年度、楠元側から約400mの用地買収を必要としない箇所について整備している。その後、予算の関係上、休止の状態であったが、求年度から、木屋園公民館から県道への取り付け部分までの約700m区間の着手を考えている。地域の方や用地がかかる方には御協力等をお願いしたい。			川内駅東口にアクセスする道路、市道駅前・白和線について、用地取得・建物等補償・新設橋設置に伴う仮設橋設置工事を実施した。		○	○	○	
H27	3	平佐東	地区の避難道路確保について (林道荒平線)	林務水産課	今後の森林資源活用の高まりに伴い、林道使用の増加傾向が見込まれる。また、災害時の避難用道路としての機能も確保する面からも、随時、現地パトロールを実施しながら、適切な維持管理に努めてまいりたい。			豪雨後、台風後に巡視を行い、崩土除去、側溝浚渫等の維持管理作業を行った。					○
H27	3	平佐東	地区の避難道路確保について (市道楠元・中村線沿いに流れる宮上溜池等を水源とする、農業用排水路)	耕地課	農業用排水路の水路幅を広げる等の土地改良施設の改良工事については、受益者負担金事業として、地元の受益者の方々から5%の負担金をいただきながら事業を実施している。同排水路の拡幅要望についても、必要な箇所については、受益者負担金事業として計画的な整備は可能であると考えている。 なお、災害等による排水路の被災箇所については緊急を要することから、随時復旧工事を実施してまいりたい。今後、具体的な御相談をいただきながら、地元の受益者の皆様と協議をさせていただきたい。			農業用排水路については、土羽等の崩れのあった箇所について一部整備を行った。					
H27	他		自治会未加入・ごみの問題	コミュニティ課	地元の方と一緒に、今後も対応したい。			回答と同様					○
H27	他		自治会未加入・ごみの問題 (ごみの分別が徹底されないために、置き去りにされる)	環境課	ごみの分別がされていない件については、おそらく、未加入者の方によるものと考え。市としても、広報を図る等、様々な形で周知している。いずれにしても、意識の高揚が大切であると思うので、今後も広報等に努めたい。			自治会未加入者には、自治会への加入を呼びかけながらごみの出し方について指導している。					
H27	他		防犯灯について (LEDの補助は年間5基が上限であるので、善処していただきたい)	コミュニティ課	予め前年度に調査の上、多くの自治会が要望に沿った形で予算獲得につなげたいと考えているので、御了解いただきたい。 LEDを使った国の補助制度で、良いのがあれば、前向きに研究されたいとの御指摘である。全地域に還元できる良い事であるので、我々も今後、LEDを導入する際の費用等を研究させていただきたい。			回答と同様 平成28年度は、自治会の要望に沿った予算獲得ができた。				○	○
H27	他		市が推進されている花づくりの一環として、平佐西地区コミュニティ協議会も計画し、市へ要望して、県道山崎線の500m区間に芝桜を植える。しかしながら、1回50万円の上限があるので、全部終了するのに、5年もかかる。早く実施できるように、補助の上限を見直してほしい。	環境課	地区コミュニティ協議会が事業主体となって実施する「花の名所づくり事業」を今年から新規事業でやっている。今、3団体ほど申請があり、1団体は2.5kmの彼岸花道路を実施された。今回、初めての事業ということもあり、上限を設定した。500mのうち、100mしかできないとのことである。ただ今いただいた御意見も含めて（上限を上げられないどうか）、今後、検討させていただきたい。			実現するように、検討したい。					